

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2005-223922 (P2005-223922A)
【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)
【年通号数】公開・登録公報 2005-032
【出願番号】特願 2005-28454 (P2005-28454)
【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/225

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 20 日 (2005.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一連の画像を記憶するメモリ・ユニットを含む前記処理ユニットと、
前記処理ユニットからの信号に応答して作動されるシャッターと、
前記シャッターが作動されるとき画像を受信する感光領域であって、前記シャッター上の前記画像が前記メモリ・ユニット内に記憶されるものと、
前記メモリ・ユニットに記憶される画像を表示するディスプレイと、を含むデジタル・カメラであって、
前記デジタル・カメラが有する動作の第 1 モードにおいて、第 1 ユーザ入力に応答して所定の時間に前記シャッターが動作され、前記所定の時間中に前記一連の画像が前記ディスプレイ上に表示され、前記ディスプレイが画像被写体にとって見えるものである前記デジタル・カメラ。

【請求項 2】

シャッターの作動について目に見えるカウント・ダウンを前記一連の画像が供給する請求項 1 に記載のデジタル・カメラ。

【請求項 3】

前記デジタル・カメラが動作の第 2 モードを有し、前記第 2 ユーザ入力に応答して前記シャッターが直ちに作動される請求項 1 または 2 に記載のデジタル・カメラ。

【請求項 4】

前記ディスプレイが回転可能であり、動作の前記第 1 モードにおいて前記画像被写体に面するように前記ディスプレイが回転される請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のデジタル・カメラ。

【請求項 5】

前記一連の画像が一連の数である請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のデジタル・カメラ。

【請求項 6】

デジタル・カメラにより画像を獲得する方法であって、

第 1 ユーザ入力信号の後に、所定の時間にわたりシャッターの動作を遅延することと、
前記所定の時間にわたり、前記被写体画像に対して一連の画像を前記カメラ・ディスプレイ上に表示することと、を含む前記方法。

【請求項 7】

前記一連の画像が前記デジタル・カメラのシャッターの動作のカウント・ダウンを供給する請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記デジタル・カメラが第 2 動作モードを含み、この第 2 動作モードにおいて、ユーザ入力によって遅延なしに前記シャッターが作動される請求項 6 または 7 に記載の方法。